





●【用地護岸】施工状況(令和4年10月5日撮影)



●2月8日時点 作業状況

### 登別漁港建設その他工事

### 恵庭栗山線馬追橋架替工事外



●【-3.0m岸壁】屋根施設 屋上防水施工状況



●【道路(改良)】舗装・区画線完了



●【船揚場】浚渫作業・上層路盤敷均し状況



●【作業ヤード②】骨材再生状況・張りブロック製作

- 工事名 : 登別漁港建設その他工事
- 発注者 : 北海道開発局 室蘭開発建設部
- 施工業者 : 萩原・菱中経常建設共同企業体

- 施工場所 : 北海道登別市登別港町
- 進捗率 : 79.0%(令和5年1月末時点)
- 施工期間 : 令和4年5月12日～令和5年3月30日



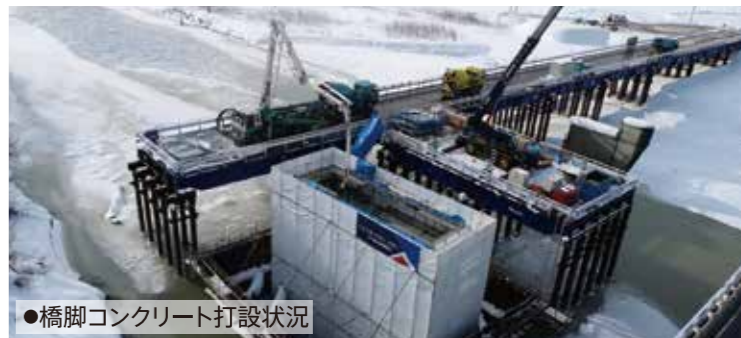
●仮橋設置状況



●鋼矢板圧入状況



●作業土工床掘状況



●橋脚コンクリート打設状況

- 工事名 : 恵庭栗山線馬追橋架替工事外
- 発注者 : 空知総合振興局 札幌建設管理部 岩見沢出張所
- 施工業者 : 萩原建設工業株式会社

- 施工場所 : 北海道夕張郡長沼町
- 進捗率 : 82.4%(1月末時点)
- 施工期間 : 令和4年7月11日～令和5年3月20日

# 土木

登別漁港は、北海道胆振中部、登別市と白老町の2つの行政区に位置し周辺海域ではスケトウダラや、サケ定置網漁業等の沿岸漁業、道内外からのイカ釣り漁業も盛んな流通拠点漁港です。しかし、厳冬期には野天の狭隘な環境下で陸揚げ作業が行われているとともに、漁獲物への異物混入や魚体凍結等の品質低下が懸念されており、衛生管理対策施設の整備が急がれています。また、既存施設は昭和40年代に整備された鋼構造物が多く、老朽化が進行しているため災害時等には倒壊等による機能損失の懸念があります。これらの課題対策として、本工事では-3.0m岸壁(屋根施設)、道路、用地護岸・船揚場などの施設改良を行っています。施工場所や周辺ヤードは漁業利用が盛んであり、工事による影響度を必要最小限とするため、施工時間の制約や、ヤード制約(狭小)など近隣工事と漁協組合との綿密な打ち合わせが不可欠となっていますが、日々、安全かつ円滑な作業を行うよう調整に努めています。工事はこれから山場を迎え作業が輻輳したり、天候潮位の影響にも配慮が必要となりますが、無事故・無災害を最優先で施工を進めていきます。

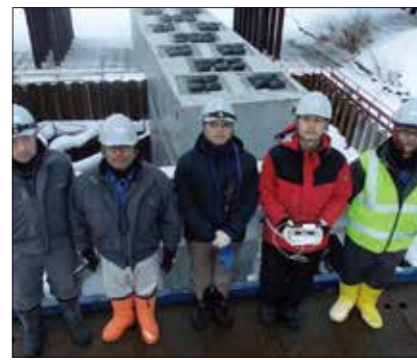
現場代理人・監理技術者:高沢 治彦(写真:後列中央) / 主任技術者:中川 貴大(写真:前列右)  
 専門技術者:岡嶋 昭宏(菱中建設株式会社 / 写真:後列右)  
 担当技術者:島谷 蓮(写真:前列左)・鈴木 心(写真:後列左)



馬追橋は、今から120年ほど前、明治34年に初めて架設された橋で、栗山と長沼・恵庭・江別・札幌などを結ぶこの橋には、開拓時代の夢と歴史が詰まっています。旧橋は、6代目になり、鉄筋の露出や床版の劣化など、老朽化が進んでいました。安全な道路機能を確保する為、令和8年の完成を目指し橋の架替工事を行っております。本工事は、馬追橋架替のうち、旧P5橋脚を取壊し新P6橋脚を構築、仮設工として仮橋設置撤去・土留仮締切が主な工事内容となります。河道内の流水部における作業となることから、出水期には、天候及び河川の水位を注視しながらの作業となり、9月の鋼矢板圧入施工中には、大型台風及び低気圧等により河川増水の恐れがある為、圧入機の一時的撤去を行う場面も2度ありましたが被害はありませんでした。

現在、躯体構築が終わり、埋戻し・鋼矢板引抜・仮橋撤去と残っています。濁水期ではありますが、雪解けの時期となってくるので、現場内に監視カメラを設置し、気象情報を確認しながらリアルタイムで状況判断を行い、作業関係者の安全を確保しながら協力業者・職員・会社と笑顔で工事が終われるように施工をすすめていきたいと思ひます。

現場代理人:林 博樹(写真:左から2人目) / 担当技術者:小針 優聖(写真:中央)  
 担当技術者:大龍 雅敏(写真:左)・朝倉 聖也(写真:左から2人目)・佐藤 健(写真:右)



# 土木



当社で施工しております建設工事現場周辺地域において、環境整備活動を行い、各町より感謝状を拝受いたしました。1件目は、上士幌町内にあります「タウシュベツ川橋梁」を眺めることのできるタウシュベツ展望台へつながる遊歩道の補修作業です。ぬかびら源泉郷の周辺に点在する旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群の中でも、特に代表的なコンクリートアーチ橋として知られるタウシュベツ川橋梁をひと目見ようと、毎年多くの観光客がタウシュベツ展望台を訪れます。訪れた方々が安全に通行していただきたいとの思いから、今回の整備活動を実施いたしました。

2件目は、秩父別町役場周辺における円滑な交通確保を目的とした、樹木の伐木・伐採作業です。大きく成長した樹木が生活道路の通行に影響を及ぼしていましたが、今回の作業により安全な生活環境が確保されました。

当社は、社会インフラ整備を担う総合建設業者として、環境マネジメントシステムに基づく自主的な環境負荷軽減への取組を実践すると共に、自然と人が共生できる環境づくりを通して、地球環境の保全に努めてまいります。

📷 今月の表紙

撮影：萩原建設工業 営業部・仁藤 正憲

記念すべき70号目の表紙は桃の節句にちなんでモモちゃんです。

前号でも触れましたがとにかくルックスが可愛いエゾモモンガです。実は去年の3月号もモモちゃんでした。3月が動きが活発になる繁殖期なので3月の過去PICを見るとモモちゃんが多いんですよ。アイヌ語では『アッカムイ』と言います。意味は子供の守り神です。鳴き声の子守歌に似ているからというんですが、なんか意味まで可愛いエゾモモンガでした(笑)



待望のMINIとBMWの進化に出会える新たな空間。

BMW / MINI  
NEW SHOWROOM  
OPEN



BMW 正規ディーラー

Obihiro BMW

MINI 正規ディーラー

MINI Obihiro

株式会社モーターレン札幌 帯広支店 TEL.(0155)36-5432 FAX.(0155)36-5434

〒080-2472 帯広市西22条南3丁目21-8

定休日：月曜日、第2・第4・第5火曜日(サービスは祝日も定休)

アクセスMAP

